

企業見学キャラバン
平成26年7月29日(火)

7月29日(火)は梅雨明け後間もない真夏日と呼ぶに相応しい暑い暑い1日になりました。3校の高校・大学の学生、今回スケジュールの都合がどうしても合わず学生が参加出来なかったことから専門学校を代表して理事長が参加。その他、相模原市の職員とスタッフの総勢26名で、未来の為の市内企業見学バスツアーに出発しました。

朝8時半にJR相模原駅に集合し、相模原市内優良企業5社を見学し、夕方4時半に相模原駅に戻ってくる、かなりハードで濃い1日です。

それぞれ業種も業態も違った工場・作業場を見学し、参加者たちはものづくりの魅力に触れることができました。



本日4社目にお伺いした企業は三光機械株式会社様です。自動充填包装機の製造を得意としています。30名も入る大きな会議室に入りました。工場の現場は、作業効率・生産性を重視した設計になっているので、30名が一度に入ることが出来ません。2班に分かれて、小口部長から会社説明を受ける班と工場の現場を見学に行く班とになりました。

小袋の包装容器は毎日の生活に欠かせないものになっており、目にしない日は無いと思います。その小袋包装容器に食品を充填する装置には、奥深いものを感じました。充填する内容物は液体・個体・粉末と様々です。又、充填されるものがお菓子の様に主役になることもあれば、カップラーメンのスープの様に脇役になることもあります。

食品メーカーの製造ラインに応じた対応を行わなくてはいけないのは大変ではないでしょうか。ラインの主役の位置に配置するのか、脇役の位置に配置するのかで、大きさや向き等も大きく変わってきてしまいます。その都度、設計・製造を変えて行くのは凄い苦労があると思います。

パッキングする時に内容物の挟み込みを回避させる発想や技術も目からウロコでした。説明を聞けばなるほどとは思いましたが、そこに至る発想や技術は凄いです。

26連式スティック自動充填包装機は圧巻でした。当たり前のことですが、26、52、78...と、あつと言う間にスティックを作っていく様は凄かった。



工場を見学した参加者からは、

- ・包装の世界にあんな素晴らしい機械があると思わなかった。26連式は凄かった。
 - ・手作業で機械を組み立てているのが凄かった。
 - ・普段手にするものを作っている機械がみれたのは、親しみがわいた。
 - ・実際に袋詰めする現場が見られたのが良かった。
 - ・海外シェア70%製品開発力には驚きであった。
- 等、たくさんの感想を頂きました。

三光機械の皆様、本当に有難うございました。